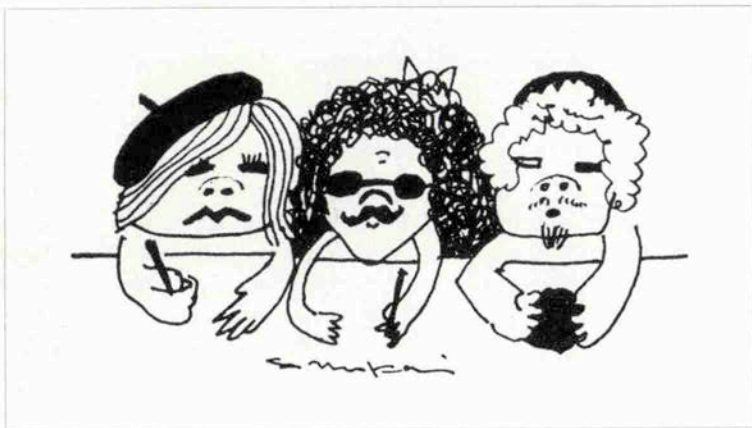


向井 修二 (K.K. 向井アートコミュニティ)

ひと昔、画家と呼ばれりや女にもてる。パ
ーに行ったら又々もてて、女子学生にも又々
もてて、良家のお嬢さんにもよくもてた。い
まじゃ名前も変身し、造形作家だそうですよ。
金をもうけることの意味さっぱりわからず



うらやんで、パーティ・パーティ・パーティ
と、画廊のオープンパーティーにただ酒飲み
たがるばかなやつ。そんなやつらがぞろぞろ
と、そろえばさっぱりNOWじゃない。
海に板を並べてもどいつの師匠が危けり
や、それから先は波まかせ。

苦勞とわがままはきちがえ、手前の氣まま

をわからぬとみじめな姿がまたかわい。
やって来ました日本の秋は、又々芸術公害
で、金にすっかり目がくらみ、駄作をいっぱ
い作っては、売れてえ／売れて／とかこの
中。

ひと昔デザイナーと呼ばれりやうらやまし
い。女子大生から人妻とメロドラマなどの主
人公。今じゃ名前もいろあせて、すっかりだ
めになりました。

イラストレーター大はやり。へたなイラスト
描いては、がっほりかせげる現代じゃ印刷
屋の下請で、朝から晩まで版下を描いている
ようなデザイナー。

そんな時代じゃありません。花嫁学校行く
つもり、ちょっぴりかつこがいのものと学ん
でいるやつ多いやつ、昔の美術の学校は、い
なか天才集ってわいわいやっていましたが、
今じゃ美術学校に集まるやつたちは、どこか
ぬけてるハンパもの。

すっかりだめになりました、人生すつかり
だめになり、つまらぬぜにで身を売って、こ
れもやっぱりかこの中。

ひと昔写真屋さんと呼ばれば、見合写真
か記念写真、今じゃどうどうカメラマン。フ
アッション、コマージュシャル忙しく、

ただパチパチとシャッターを切っては税金
をちょうだいと、まったくバカけた職業で、
そのくせピントはまあまあで、ずれてピンボ
ケならばこそ、フイーリングとはよく言っ
た。ろくな写真をとれないで、カメラマンと
呼べばよい。



街のおしやべり 久世 進

神戸に市制が実施されたのは今を去る83年前、つまり明治22年のことである。

この年、フランネルのシャツ流行。色眼鏡流行。輸入外国米さかんに売れる。20世紀(梨)発売される。紀州みかん、はじめてアメリカに輸出される。ピアノの組立はじめられる。全国に幻灯流行。珈琲挽茶入の角砂糖発売される。東京、熱海間電話開通。横浜のクレーザー商会、蓄音機を輸入する旨の広告をだす。東海道線全通し、新橋、神戸間毎日一往復直通列車運転開始。兵庫、神戸間鉄道開通。裸体画発売禁止される。決闘処罰令公布される。喫茶店次第に増える。ETC。

さて、今回のおしやべり趣向をちと変え、その頃のわが先輩神戸っ子たちの表情を、当時の新聞の雑報からビデオテープでハイもう一度。

まず、青い目の痴漢の話

神戸、元町三丁目の湯屋宮本伝吉方へ一昨黄昏時、洋人一人入り来り「ワタシ、オンナダイスキ、ハダカモットモロシイ」と言いながら女湯へ仁王立ちに突立ち、婦人の湯壺より出るを見ているゆえ婦人連の迷惑一方ならず、番台にいた伝吉も種々論ぜど聞入れざればよんど

ころなく派出所へ訴出しかば、巡査が出張して漸く立去らしめたりと言う、此洋人は露人オナナスキーと言う者なりけり。

生理現象も忽ち罰金の話

摂州、武庫郡(現在の東灘区)魚崎村浜横屋に住む田中華人なる男、神戸より汽車に乗り東京まで来掛る途中、いかにも腹が筋ばりてたまらねど、車中でやっては外の客に気の毒と、ぐるり腎(しり)をまくり窓からブーと一発やっつたのを遂にその筋の間、否喚ぐところとなり、鉄道規則第六条により罰金五円申付けられたるは昨四月一日のことなり。

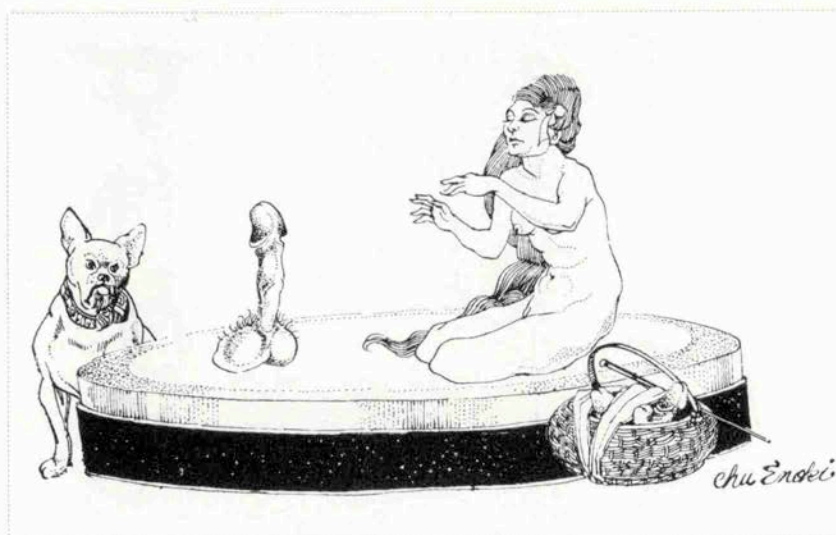
精力絶倫型の女の話

近來しきりに新式の婚姻が行はれて、夫婦の間に約束の証文を取りかはす者ある由。成程大切のこと故、証文は用ひたきものなり。しかるに昨今この証文が破れて離縁となりたる一奇話あり。

所は西灘村岩屋にて原田某の裏長屋に住める四十八、九才の独身の男、當日頃妻を迎へ入れたく思ひけるに、折柄、一方に兵庫、相生町辺りに四十二、三才に及べる婦人ありて、この者も何とか夫を得たきものと予ねてより言ひけるため、これ聞き誠に良縁なりと或る人がその媒酌をなすに、この女元来よほどの淫病ありしにや、一夜必ず四回の春を占めたしといひければ、婿となる

男、それはいと易きことなり、決して否みは申すまじと答へたれど、婦人は尚も疑ひて、されば証文を認められよとのことに、媒酌人も婦人の面前にて調印までなし、互に之を取りかはして婚儀を行ふことと相成った。ところがこの夫ただの一夜にして堪えかねたるにや、結婚三日目に至り婦人は果して証文の通りならぬとて、その家を出て再び帰らざりしといふ。病なればせんかたなけれど、独り暮しのうちは如何過せるものならんかと近所の者が話しあへり。

(朝野新聞)



今もよくある話

夫婦ハ天下晴レテノ事デ人目ヲ忍ブモノデハナイト思ヒノホカ、神戸ハ平野祇園神社辺リニ住ム人力車夫銀次郎女房おそでヲ連レテ三、四日前の晩ニ銭湯ニ行キ婦リニ神社ワキノよしヲ張リヘ女房ヲ引連レ込メナシ、無我夢中ノトコロ通リアワセタ巡査ニ引カレマシタガ、夫婦ニチガヒナイノデワケナク婦サレマシタ、家モアラウニマア。

(日の出新聞)

当時の新聞に載った奇妙な姦通証文

差入申証文

貴殿ノ女房マキ殿ト今日茲通ノ所ヲ取押ヘラレハケ間敷(やかまし)被申候得共(もうされそうらえども)七八年前ヨリ度々ノ事ニテ今ニ始マリ候ニハ無之(これなく)依而(よつて)承服致シ兼ね候処、今般松原為藏殿立入りテ明治十五年ヨリ刑法トイフモノ有之、間夫(まぶ)ヲ為スト赤衣ヲ着ルトノ御論シ故、ヨンドコロナク金参円差出シ候、向後マキ殿ト云々候時御取押ヘニ相成候ハバ、マキ殿ヲ貰ヒ受ケ其償(そのつぐない)トシテ我等の身代半分ヲ貴殿ヘ差出シ聊(いささ)カモ申分無之候、依テ為後日差入申証文如件(くだんのごとし)

明治二十二年旧四月八日

明石郡西垂水村 藤岡鉄太郎

同郡同村 大西善三郎殿

(朝野新聞)

ヌード写真ブームの話

神戸居留の或る外国写真師は、無智の日本婦人にして負窮なるものに多分の金を与へ、見るに忍びざる裸体を撮影して本国へ送れる由の風聞あり、真疑は固より知らざるが、如何に下等の婦女子なればとて、少しは廉恥と言ふ事を知りて、斯る誘惑に陥らざる様にありたきものなり。

(読捨新聞)

女体百景

《4》

H・ジュニア

え・浅野 俊一

マンゴーと

グレープフルーツ

女を、果実にたとえると、その熟れ方にも、二種類あるようです。

一つは、いかにも熟したマンゴーといった感じに、茶色っぽく色づき、熟れすぎて、くずれた感じ。おせば、グチャツと、お汁の出そうな、少々、不潔さを伴っている種族。

もう一つは、中味が熟しているのが、手にとるようわかるけど、外観は、熟せば熟すほど、表皮が薄くなり静脈が透けて見えてくるといった、上質の「グレープフルーツ」のような種族です。ギリギリの清潔さを、保っているといった風情です。

全般に、熟れた果実は、ムードに弱く、お酒を好み、特に美しい色のカクテルなど、飲みたがるものですが、マンゴー族は、派手に、陽気に、猥談などしながら、バツと飲みます。

例えば、女の方から、

「H先生ノ 飲みに行きましょう」

と、はっきり、さそうのはマンゴー族です。そして、

「何か、面白いことない？」

と、水をむけると、真赤な皮ばりの煙草ケースなど出して、一本くゆらせながら、

「こんなの知ってる？」

と、マッチ棒で、カウンターのの上に、HOTELと置き、

「一本動かして、この中でしてること？」

「してること？」

「ほら、いつも先生が好きでしてはることやないの？」

「いや、わからん、何やねん？」

と、わざと、しらをきって、みせると、

「こうやないの？」

と、いいながら、NOTELと、置き直して得意顔、

「なるほど、外には？」

と、けしかけると、

「ほんなら、あれしょう、いわれて、イエスの意味を二

本動かして……」

「イエスね……」

と、考えるふりをして、「イエス、イエス……」と、少し間を置き、

「降参！」

というのと、得意そうに、ホテルからI HOPEと並べ変え、ぐっと、カカオファイズを飲み干し、

「ほんなら、一本とって、ノーの意味にするの知ったはる？」

と、尋ねながら、どうせ知らへんやろ、といわんばかりに、自分でせつせと、110 TELと、書き直して、

「百十番テルヤ」

と、つまらなさそうに、つぶやき、

「ところでH先生ノ あれを純粹に、医学的に研究する

会作れへん！ それが今日の娘に一番大切や思うねん」

「それやろノ」



だことないの、ブランドデー」

というのは嘘、と見え透いているが、そういうことにして、グラスを持った右手を、互に、からませて、口元へもってゆくキザな飲み方を紹介して飲む。始めてと言った手前、彼女は、従順に、何でもいう通りにします。ここがまた、グレイブフルーツ族のいいところ。

さて、愈々H先生、彼女の左側へ腰かけなおし、身を寄せ、右腕を廻して、彼女の右上膊（この位置が微妙で大切）をぐっと、握って抱き寄せ、じっと、音楽に聞き入ります。ミニスカートからはち切れるようにモモがはみ出し、ピンク色に染った薄い皮膚を通して、所々、静脈さえ、うっすら、すけて見えます。

この次が大切です。彼女のかわいいひざ小僧を、包むように、左の手のひらを置いて見て下さい。もちろん、パンティーストッキングの上からで結構です。

その時、諸君は、彼女のひざ小僧の「ヒヤッ」とした冷たさに驚かれることでしょう。グレイブフルーツのひざ小僧は冷たいのです。

彼女の体内で、熱い血が湧き、流れ、やがて激流となつて、子宮に集まり、彼女の身体は、ぐっしりと、すみずみまで、エクスタシーのしぶきに濡れ、くたくたになつて行くのが、彼女の薄い皮膚を通して、H先生にはよくわかるのです。

彼女は、もう、話すことも、立ち上ることも出来ません。横目で、チラッと彼女を見て下さい。その目はうるみ、時には、涙さえ、頬を伝っていることがあります。

どうせ食べるなら、熟れ頃のグレイブフルーツをどうぞ！

「刺激が、どこへ、どう加わったら、どこの血管がどうなる……というような、まともな知識が一番今の娘に欠けとる思ふねん！」

「そやそや」と、いいながら、私は、実地に忙がしいマンガー族と、一度も研究会を開いた試しがない。理由は御賢察にお任せする。

さて、グレイブフルーツ族の方は、飲み方も、ぐっと静かなら、さそい方もしおらしい。

「私、いいお店見つけたの。この間一人で行って、お酒注文して、何時間も、ポケッと、音楽聞いてたわ！」

「一人で？」

「うん！そり、もちろん一人！今度行って見ましようか？ すごく感じのいいお店！」

「行きましよう！」

と、いうことに相成る。H先生も忙がしい。

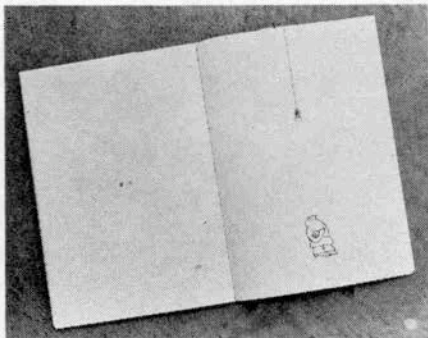
「何飲む？」

「一度、ブランドデー、いただきますから、私、まだ飲ん

Green Apple's Page

TOPICS

秋になると
若者は動き出す



右上 船上パーティ風景
右下 「少年の世界」の藤原さん
左上 岡田淳さんの本“マリオネット”文中の顔、著者の顔
左下 三人展

に労働にと右往左往精を出した果に、彼らの存在を開んでいた線は消えてなくなる。後にのこされるのは二つの目玉と、画面の外で糸を操り続けたゴッド・ファザーだけである。まあ、色んな空想が許される「か然」な作品集である。



彼らを自早自在に糸で操つるゴッド・ファザーは、終始姿を見せずに終る。結末が不気味である。恋をし、決闘をし、芸術

糸で操られる人間が主人公。

という感じ。理論と科学的法則を尊ぶ人は、無理矢理にもとつつかまえて、意味という重力を押しつけ大地に落下させておかなければ安眠できない。

●〈マリオネット〉出版

岡田淳、二十五才。およそ思

いつめた素振りも見せぬキサク

な青年、初対面でも三十パーセ

ント程度は本心を打明けてくれ

る。「いと深き、糸の意図こそ

いとわしけれ、いとまきこの

糸の営み」と訳のわからないこ

とを喰いて、去る九月十一日に

発刊したのが〈マリオネット〉と

いう漫画集。今どきの若い人は

何を考えているのやらと、つい

溜息の出そうな作品集である。

リンゴの枝から落ちた実が、そ

のまま大地に落下しないので、空

宙をあてもなくさまよっている

という感じ。理論と科学的法

則を尊ぶ人は、無理矢理にもと

つつかまえて、意味という重力

を押しつけ大地に落下させてお

かなければ安眠できない。

糸で操られる人間が主人公。

〈マリオネット〉 定価三百五十円。神戸ブックス（三ノ宮地下街）、「神戸っ子」編集室（221-7037）にて発売中。

●油絵・三人展

9月9日〜17日、元町の新光ギャラリーで、働く神戸の若者三人が油絵展を開いた。鄭さんを師としてキャンパスに情熱を傾ける彼等は、去年10月にひこばえ画廊で仲間10人のグループ展もしたという。作品の題材は身近なものなかにふと感じる美を中心としたものが多く、その感受性は女性の特権だという太田八重子さん（23）と栗飯原町子さん（23）の二人。モデル代が払えないので自画像を描いているうちにだんだん大きな

絵になってきたという山田泰成君（21）。

展示された作品は、十九点で、若者らしいタッチの絵が見る者の目に素直に入ってきて快い。仕事をしつつ絵を続けていくことは難しいが、絵のなかに新しいことを一つでも見つけこうとする彼らは、何事も精神力、とはりきっている。この三人展を機会に、これからも頑張ってもらいたいものである。

●少年の世界―藤原洋介

九月十日に発行された季刊誌。

「子供をいかに育てるべきであるか」ということより、子供がいかにありたいかを、彼らの代

りに伝えたい」という彼の言葉どおり、大人の常識と理性では理解できない奥深い少年の心の内部（今回は不安が主）が、少年と共にある立場から描きだされている。問合せは、神戸市御影石町4-12-17。藤原洋介、価格は神戸っ子編集室まで。頒価一〇〇円

●潮風に吹かれながら

去る8月27日、若者達約千人と熱気でふくれあがった関西汽船のり丸は、夕闇迫まる中突堤をスタート。船上では、ゴーゴーパーティ、アングラ劇、ラテン音楽など盛たくさんのアトラクションが行われた。このパーティを若者は大いに楽しんでいた。

●フォーク情報

10月14日PM4:30〜PM8:00「かわら版キャラバンフォークコンサート」中川五郎・片桐ユズル、小林隆二郎、ジョンヤ他、六甲学生センター（三〇〇円）連絡・フカオTEL〇七八二七三三九六

●神戸コッキークラブ誕生
神戸の街にnowな音楽ファンの集いが誕生した。その名をコッキークラブ。

ポップスファンなら誰でも会員になれ、会員は半年分500円の会費を払うだけでOK。素晴らしい特典が与えられる。

詳しいことは、神戸ヤマハ1Fブレイガイド、神戸コッキークラブ、事務局へ。
TEL (078) 321-1191

DREAMER



テント小屋でファッション一緒に考えよう!

中藤 繁(24)〈オズ・マジシャンカンパニー店長〉 左より

伊藤かず美(20)〈オズ・マジシャンカンパニー支配人〉

ヨモ・ヨシロー(24)〈オズ・マジシャンカンパニー社長〉

センター街スタイルビル4階によくよく探せば発見できぬ広さ2坪の白いテント小屋あり。ロンドンから持ちかえりのTシャツ、手描きのシャツ、サテンのジャケット、ミシン一台、古ぼけたトランク1個、手づくりの小ものetc.その名も「オズ マジシャン カンパニー」。フォーオーダーのヨモ・ヨシロー（ツベルクリン）君が「なんかオモロイコトやってみたい」とまかされた2坪のスペースを2カ月前から、ファッションのオモチャ部屋みたいと白いテント小屋を作った。まだ今はマッシュロケのテントだから店の名前すらわからない。お客さんと一緒にテントを落着いて、一緒に店を作って行こうという発想。いかに保守なKOBEの町の壁を、このたまり場から打ち破って、KOBEからTOKYOへ押しつけて行くような積極性のあるファッションを創りたいと夢はデカイ。ヨモ君は多忙なので、中藤君とかず美ちゃんがいつも頑張っているのです。手描きシャツ、ジャケット類オーダーOK。

でんわ(321)-4925

ぴっと・いん



★トア・ロードに

。リッツ・ジャポネ
山から海へぬける坂トヤ
ロードにまた、新しいミ
ージックレストラン。リ
ツ・ジャポネが九月十八
日オープン。

アメリカンファーマシイ
の向いの地下で、ガス燈
も階段を降りてゆくパ
リ
ムードがなかなか粋。
クラブ「シャルル」の姉
妹店「リッツジャポネ」は、
カウンタースタイルでミニ
の可愛い女の子がサービ
スしてくれる。料理は、エ
スカルゴカエルのバター
焼、ビフカツ、ヘレステ



ミニのマドモアゼルがすてき

キ、タヤシチューなど色
々。ビール(三〇〇円)。ピ
アノの音に耳傾けながら
ドリンクとお食事が楽しめ
る。トア・ロード深沢ビル
地階(霞三二一〇七八)

★井戸のある家

サロンドビユー

生田新道の新世紀浜側の
地下に、井戸のある家「サ
ロンドビユー」とその名も
粋な、新しいサロンが十月
上旬誕生する。

サロンの真中に井戸があ
って、その中からコンコン
と湧きでる神戸の美味し
い水で、ビールを冷やしたり
西瓜を冷やしたり、井戸を
開いて井戸端会議をしたく
なるような、文化的な神戸
人のトピックを高める店に
したいとか。

オープニングには、京都
から仲間のミュージシャン
がかけつける。また、神戸
の文化人を招いて、井戸端
談議をやりたいたか。まあ、
談議をやりたいたか。まあ、
なので、たべて、おどって、

おしゃべりして、楽しめる
サロンドビユーなのだ。

★サケ・シーズンに

「酒蔵金露」

灘の生一本が美味しくな
る秋だが、銘酒「金露」が
直営宣伝酒場「酒蔵金露」
を生田筋玉広ビル地下に
二カ月前からできている。
カウンタート、気軽なタ



やすい値段でのめる「酒蔵金露」

タミテールで、やすい値
段でのませてくれる。

特級二〇〇円、一級一六
〇、樽酒二五〇円、ビール中
二〇〇円料理は一品一〇〇
円、三三〇円と他にいろいろ
の和定食ができる。午後五
時半、午前一時(日曜祭日
休み)でんわ/三二一〇一
三六八

★「娑羅」三周年

田中淳子さんのお店「娑
羅」が十月二十二日三周年
を迎える。この日は休日な
ので十月二十三、二十四、
二十五日三日間を三周年記
念の日。

●神戸のうまいも んとドリンキング

山荘

生田筋ヒロタ横入る
TEL三九一五八三三

この八月、オープンし
て三周年を迎え店内がき
れいに改装された。

マスターの上松さんの
アイデアが当り、店内
はいつも活気でいつば
い。湾曲したカウンタ
ーとシートがおもしろく、
山小屋風のインテリアも
仲々いい。

飲んで遊んであの娘が
くどける、実にドッキリ



活気にみちた山荘の店内とマスター

なフィーリングに満ち満
ちている。

毎夜ギターのひきがた
りがあり、パーティ、コ
ンパ、クラス会などにも
利用できる。

あなたも一度ぜひどう
ぞ。

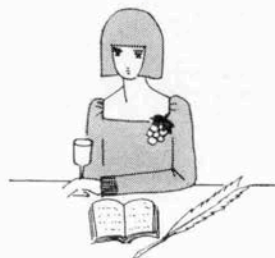


酒 肆 *Nouvelle*

ヌベール

神戸市生田区北長狭通 2 丁目 14

Phone 331 - 9 0 0 5



あんまり夏が楽しくて
秋が来るのを忘れていた

今、私はひとり
秋につつまれてひとり

足は赤い階段を昇り
私の椅子にかける

ひとりを忘れる場所で
グラスをかたむける私

Jolly Jolly SAVOY

だんだん陽気になってくる
もうすぐ、

またふたりになるかも…………

カクテルラウンジ

SAVOY
サヴォイ

ホームパーティーでのカクテルの
作り方を電話でお教え致します。

お気軽にどうぞ

TEL 331-2615


高築山側 テキの店北

秋の装いに

新着舶来フレーム



MAKE UP
WITH ROYAL

 神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(321)1212代表

三宮店・さんちかタウン ☎(391)1874~5

元町店は毎水曜日がお休みになりました

三宮店は第3水曜日が休みです



アサヒビール特約代理店

酒類調味食品問屋

 神戸酒類販売株式会社

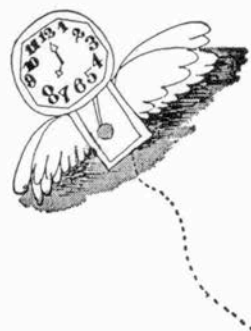
本店・生田区中山手通1丁目76

TEL (078) 321-0201(代表)

支店・西宮・垂水・兵庫

● お酒の殿堂

神戸百店会
だより



★世界のトップ

ファッションを集めて
トアロードの舶来服飾雑
貨の店、スターニエートン
による72・73秋冬ヨーロッ
パ毛皮とブレタポルテモ
ドショウが、9月26日北
野町のルカカルトンで豪華
に催されました。ジャンバ
ツ、アニョナ、ボブソン他



エスターニエートンファッションショウ

世界各國のトップメーカを
集め、一部はフォーマルフ
アッション、二部はコート
と目の覚めるような素晴し
いショウ。今年の秋冬は今

イーに移りそう。色調も茶
系統が多く、この秋はぐっ
とシックなムードが街を覆
いそうです。末広咲子さん
のなめらかな声に乗って、
素晴らしいショウでした。

★絵を楽しむながらお茶を
さんちかの風月堂のお店



ずらり並んだルナ・ピナコテカ

に、漫
画家・
広瀬安
美さん
の「絵
本こう
べ」の
原画展
が、油
絵・水
彩画の
計八点
が掲載
されて
います。
これは
9月10
日から
3ヶ月、
喫茶室
に飾ら
れる予
定。落
着いた
零閑気
のなか
で、か
わいい
絵を眺
めなが
らお茶
を飲む
のも最
高です。
あな
たも、
デート
に、お
友達と
のお話
に、ぐ
っと落
ち着け
る

風月堂にいらしてみても？
★ファッションへの原点！



コマツヤファッ
ションショウ

センター街、さんちか

さんブラザと多くのお店を持
つコマツヤ洋服店が9月1
日・4日、さんちか広場に
於て、オリジナル服地・ブ
レタ新作発表会を催しま
した。会場には舶来服地や
特価コーナーもあって、な
かなか好評でした。また2
・3日の両日は同会場でフ
アッションショウも行わ
れ、この秋冬のファッショ
ンを取り上げようと多くの
人が集まり、なごやかなム
ードのなかで進められまし
た。秋のファッション・ブ
レタの御相談にも、コマツ
ヤへどうぞ！

★ハイカラ精神を！

大丸前のセリザワ本店が
9月15日に新装オープンし
ました。店内はフランス風
のクラシックムードの正統
派のお店

として婦
人服飾店
がまた紳
士服飾の
お店が同
時にお目
見得し
ました。



新装開店したセリザワ

●ショップトビックス

★お菓子のコブキ中山手店が、
ピンクとオレンジのとても可愛い
お店に早変わり。新装を記念して
9月8・9日にビクトリアプレゼン
トセールを実施しました。これか
ら、どうぞよろしくとのこと。

★十月月上旬に、海の幸・山の幸を
集めた京風の弁当スタンド・お食
事処「杉」が元町の本高砂屋二階
に開きます。海の幸、山の幸、野
の幸、季節御飯、釜飯弁当、おに
ぎり弁当、その他京風料理のお店
として、どうぞ御利用下さい。ま
た、高級スナック・ジョリカも御
影新メゾン一階にOPENの予定
です。

★元町のニッケショールームK・
Kが、九月二十九日から、ニッケ
紳士服地による紳士専科として従
来のオーダー部門の他にレディメ
イド並びに紳士用品部門を設け、
紳士服専門店として再発足するこ
とになりました。これからはお手
軽にご来店下さい。尚、九月十五
日から電話番号が391・619
5に変更になりました。

★トアロードのアクセサリーの店
芸夢にイスラエルやエジプト、ブ
ラジルのブローチ、ペンダントが
入っています。素焼き手作りのイ
スラエルのペンダント、ブチネッ
クは二〇〇〇円前後で、とても素
敵です。

★大丸前の神戸シャヅには秋物の
オリジナル、舶来布地が揃って
います。秋のダンディなおしゃれ
を、神戸シャヅで楽しんでみては
また、広島店が九月二十九日に増
築改装オープンしたとのことだ
す。

★大丸前、家具の永田良介商店に
秋冬物スリッパがどっさり。果物
・動物の絵をあしらった八五〇円
から、コイルテン地にアップリケ
の、赤、ピンク、白、黄、五色、
ボア付スリッパは一〇〇〇円。そ
の他、花柄のフェルト製一〇〇〇
円、シックなチェックのは二〇〇
〇円といろいろ。あなたも一度い
らしてみても？

ポケットジャーナル



★生田の森に生田神社会館

アイデア神社で名を馳せる生田神社が、第六十回の神宮式年遷宮を記念して、生田神社会館の建設にとりかかり、八月三十一日起工式が境内で氏子約三〇〇名を集めて行われた。

開館は来秋十月一日で、現在の神社西側に総敷地面積四・九八三・七八㎡、新築敷地面積四・四三四・七二㎡、地下一階地上四階の大殿堂が竹中工務店の設計施工で建築される。四階には五五〇名入る氏子参集



生田神社会館の完成予想図

殿の他結婚式場、披露宴場など、商売上手の生田さん

にふさわしい生田神社会館だ。

生田の森がビルにとりかこまれて窒息せんように頼んまつせ！

★神戸の新進音楽家による協奏曲の夕



来たる10月9日(月曜)日、午後6時30分より神戸国際会館大ホールにおいて、新進音楽家による協奏曲の夕が催される。

演奏者は阪神間在住の四人の女性ピアニスト。畑孝(桐朋学園卒、須磨区)、川森和子(大阪教育大卒、葺合区)、川崎洋子(国立音楽大卒、御影)、市川智子(大阪音楽大卒、西宮)

の四人が、京都市交響楽団、指揮山田一雄と共演する。この催しは、神戸市の

主催による新進音楽家を後援するという主旨があり、今回で第三回目を迎える。

800円市内ブレイガイドで発売中。大ホール課では、電話・往復ハガキでの予約を受付中。神戸市葺合区御幸通8 TEL2551-8151

★五十周年を迎えた神戸ヒヨコ登山会

大正十一年に神戸にできた登山愛好会「神戸ヒヨコ登山会」(橋爪忠会長)が、この十月五日で五十周年を迎えた。会員数一〇七一名(六月現在)で毎日登山を続けている会は、全国でもユニークで、背後に六甲連山をひかえる神戸ならでわのもの。一万回以上登っている人が八人もあり、六十才以上のお年寄りが多いのが特長。

五十周年記念行事として十月一日に、神戸木材会館(新開地西、兵庫郵便局西隣)で記念祝賀会が行われる他、十月十日に王子動物園東の登山研修所で、記念講演と映画の会、十月二十二日にはヒヨコ記念大ハイキングが予定されている。問合せは、TEL三六六一〇一一・橋爪さんまで。

★久方ぶりの「花隈おどり」十一月十一日(土) 神戸国際会館大ホールで、午後一時と四時三〇分の二回に

誕生日 ありがと 運動



★ちえおくれの語
脳とくに大脳の細胞は神経細胞ともよばれ、知能とか「ちえ」といった高度の働きをしています。

この細胞は、一度こわれたり死滅すると新しく再生することはできません。

この神経細胞が母胎内できられていた時に脳が傷ついたり病気をしたりすると細胞の発育は不完全なままになってしまいます。また生まれた後の早い時期に脳の病気をしたりけがをしたりしても治療できないので、脳の働きは完全ではなくなってしまうのです。

ですから、ちえおくれとは、このように病気のけがで神経細胞が買された後遺症によるものといえます。

ちえおくれの人たちは、この後遺症のために頭の働きが弱いか鈍いということがあります。正直、素直、真心がある、暖い心がある、といった、人間の本来に大切な特性は十分にもっている人たちなのです。

正しい理解と愛情を持ってつき合っていきたいと願っています。

★誕生日ありがとう運動とは

誕生日のお祝いの中から意識的に百円節約し献金する。各家庭で、この問題について話し合う機会をもつ。このことを手がかりとして、わたしたちすべてが精神薄弱児(者)をあたたく包む雰囲気を広げると同時に、ひとりひとり思いをめぐらせ、年に一度の誕生日を有意義にしよう、という運動です。

誕生日ありがとう運動本部
神戸市葺合区御幸通八の九の一
神戸国際会館一階(郵便局の前)
(二五二) 八六一内線二五八

「花隈おどり」が二年ぶりに開かれる。プログラムは「寿三番更」「春信すがた」「二人狸々」「秋草譜」「風流花隈おどり」で、振付けは花柳芳次郎・尾上菊之飯。出演は、花柳流の若奴、菊若、福若、市若、花奴、流香、花奴、市菊、尾上流の歌加津、鈴丸、豆千代、人己、鈴女、花千代、鈴乃。

地方は、勝五郎、音楽、歌津電、勝司、歌代、政三、政寿、長駒、若司、歌梅、歌喜美・歌賤さん他約四十名のメンバーではなやかな舞台をくりひろげる。日本情緒を満喫したい方は、花隈検査番(でんわ〇七八三四一〇〇三四)へ。入場料は一五〇〇円。

★あなたも元町文化教室へどうぞ

元町通一丁目元町ビルの五階にこの夏「元町文化学院」がオープン。「神戸の街に文化の香りを余暇を生かして趣味をひろげてほしい」と畑マス子さんが中心となってつくったもので、教室も陶芸、木彫、七宝、人形、皮工芸、書道、生花、茶道、琴、三味線など多彩。

国鉄元町駅のすぐ南とある交通の便がよいこともあって、昼は家庭の主婦、夜はお勤め帰りのO・L等で大にさわい。今後は日本舞踊やアートフラワー、絵画、語学教室などもつくっていく

きたいそう。入会金は二千元で会費は一カ月百円。お申込みは左記まで。

生田区元町通一丁目元町ビル5F(一番街元町文化学院)

TEL三九一八五四六
日曜日休み、平日は午前十時から午後九時まで。

★牧場でフィールド・アチエリーはいかが?
スポーツの秋を迎えて、ボーリングにもあきたし、ゴルフもどうも……という方に、フィールド・アチエリーはぴったり。

この10月はじめ、垂水区の北端、神出町天王山牧場の北端、天王山フィールド・アチエリーがオープンする。六甲連山、淡路島を望む牧場の中を、さまざまな距離の的を打ちながら、ゴルフのように14のコースをまわる。コースのそばでは牛がモウモウとのかたがだし牛のヒップを的とまちがえないようにご注意ください。会員制とビジターシステムがあり詳細は078-1965-0002(大西)まで

★「猫は猫つれ」新版で登場

五月号当欄で紹介した、愛猫家、福田忠次氏が、昭和三十八年に出版して以来絶版になっていた「ねこ文庫第三集」猫は猫つれが、田中八重さんのさし絵を新たに加えて、再登場した。



る小文が二〇ばかりおさめられている。

★さんちかのウインドウで造花づくり

さんちかの無料ギャラリーで人気のある三菱ホームコーナーで、珍しいアートフラワーの創作公開が八月十七日と二十一日迄開かれた。ウインドウ越しに、黒と白の幻想的な造花を眺めながら、長浜律子さん(神戸市東灘区備後町二ノ一)の主宰するインテリア



ウインドウ越しに花づくり

フラワリングながはま研究会の女性達がつくる手づくりの花に意外に男性諸氏が興味深げに見たり聞いたり。流動客の激しいさんちか向けのユニークな企画だった。

美術ガイド



★兵庫県立近代美術館 美人画名作展 10/7-11/12	★白鶴美術館 白鶴秋李展(中国古代理器と鑑) 9/15-11/26	★南宮美術館 月曜休館 10/11-11/11	★大丸百貨店五階美術画廊 中紀古画展 10/27-11/11	★KCCギャラリー あゆみ写友会写真展 10/27-11/11	★山口控子陶芸展 新紅会古典展 10/27-11/11	★KKCギャラリー あゆみ写友会写真展 10/27-11/11	★福山草庵個展 神戶光堂写真展 10/27-11/11	★北郷家族三人展 さんちか広場 10/27-11/11	★さんちかフリーマーケット この発表場 10/27-11/11	★第三回サンカビ スターさんちかギャラリー 10/27-11/11	★第十二回関西版画連盟展 PHOTOアルファ展 10/27-11/11	★染井会書道展 三葉ホムコギャラリー 10/27-11/11	★新光ギャラリー 大石靖子展 10/27-11/11	★安田画廊 市工OB展 10/27-11/11	★吉田画廊 新古美術品展 10/27-11/11
------------------------------------	---	-------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------	---	---	--------------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	--------------------------------

★あなたの写真を番組に

来たる10月25日に放送予定のNHK〈兵庫の話題〉、において、写真が募集されている。テーマは「秋の詩」、秋の詩情漂う力作が待たれている。詳細は左記までお問合せ下さい。

神戸市生田区中山手通2-63-2。NHK神戸放送局「写真募集」係。TEL 231-4401

★七周年を迎える

さんちかタウンに彫刻「アルバー」誕生

十月一日で七周年を迎えるさんちかタウンでは、十月一日（日）より十月十五日までの期間、記念セールとして盛りだくさんの催しものが行われる。

お笑いチャリティー・お

花時計



彫刻の誕生に乾杯

いよいよ神戸も文化時代の幕開きではないか、その到来の足音をきく思いがする。そんな時を鏡どく捉まえて、さんちかタウンの広場に彫刻がおかれることになったという。それは、当然さんちかタウンのシンボルになる

イクシオン（出演：京明子、鳳啓助）が、さんちか広場において九月三十日に開かれるのをかわきりに、さんちかフリーマーケット（一日・五日）、総額百万円のビッグプレゼント（一日・十五日）、さんちかカラフルワゴンセール（一日・八日）、さんちかフォトスカウトなどのプログラムが組まれている。

またダイヤモンド・パリ製品など豪華賞品が当たるさんちかミステリーセールが期間中に実施される。

七周年を前に九月二十五日には、エスカレーター前の贋オウムのいた池の広場に待望の本物の彫刻が飾られ除幕式が行われた。

作者は二紀会の新谷琇紀

だろう。一何んという喜ばしいことだ、その誕生を心から祝福したい。

とかく、ニュータウンとか地下のショッピングセンターといえ、人間を寄せつけない、冷たい直線が交錯するだけの街、どんなに明るくしても人の心を慰さめるような何物もないところが多い。だから、虹を想像させたり、川を造って見たりする。が所詮それは造りものにしか過ぎない。それを破る、越えるのが今度の快挙となった。ただ彫刻が街を飾るのがそんなに快挙といえる



完成した「アルバー」の前で新谷氏

さん。題名は「アルバー」（夜明け）で、海の女神・山の女神を想わせる金泊の女人像ローマでミニチュアの模型をつくり、三ヶ月の製作日数をかけた力作だ。「だれにでも愛されるもの素直にうけいられるもの」という点で一番苦勞しました。」と語る琇紀さん。

のかという人もあるだろう。

しかし、この広場に彫刻をつくる企画をたてた人、それに商店街のリーダーが理解を示したこと、が大変に素晴らしいことだと思ふ。文化はこんな心が生れ協調がないと育ちようがないのだ。

彫刻は新鋭の新谷琇紀氏の裸像「夜明け」が選ばれた。

これこそ神戸の文化の夜明けにつながる。

〈Y〉

KOBE POST

★美術評論家の赤根和生さんが、ドイツで病に倒れられ、デュッセルドルフの大学病院で療養中でしたが、九月十九日ルフトハンザ航空で帰国、直ちに阪大神経科佐野科長のもとへ入院されました。病状は快方に向い静養中です。また、皆様方の暖かいお見舞いを感謝いたしますと赤根夫人からおハガキを頂いております。

★画家の嶋本昭三さんから九月下旬ブラジル・サンパウロの「ガレリアアンブラード」で版画とタペリー展を開くと中南米からのお便りです。c/o Mr. M. TSUCHIMOTO RUA SÃO JOAQUIM 255, SAO PAULO, BRASIL

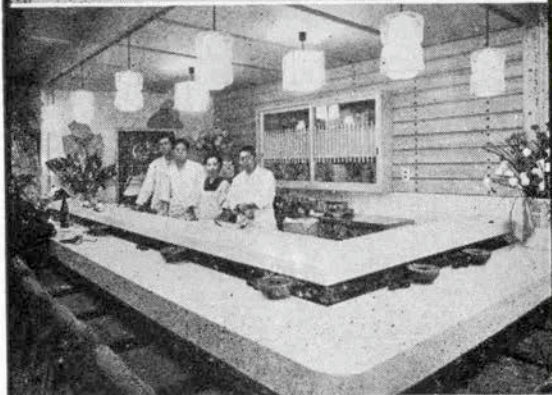
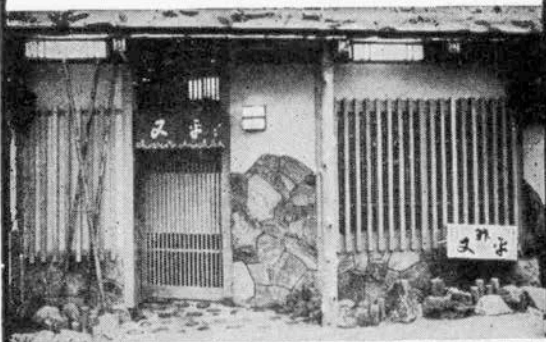
★彫刻家の藤本敬八郎さんは、神戸市教育委員会より、姉妹港シアトル市へ交換教師として、七月下旬出発、一年間赴任の途につかれました。

★詩人のもず鳴平さんからの夏作詞・作曲・プランニング・DJなど個人の仕事をスタッフをそろえて株式会社一一〇番企画を設立したとお知らせあり。各種音楽の企画制作、各種イベントの企画、制作・コンサート・演劇スタジオ・ラジオ・テレビ番組の企画制作が出来ますものとか。

★水墨画の松本壽山さんが、シアトル市のオリンピックホテル・タインズ・ルームで八月十六日・十九日迄水墨画展を開かれました。

★故田中寛次ラジオ関西西社長の後、青木啓さんが社長に就任されました。また神戸新聞文化事業局長に松井高男氏が、東京文社長に千葉俊彦氏が、姫路支局長に佐野謙實氏が就任されたとお知らせがありました。

ゆったりと落ち着いたスペースで
新しい“味”をご賞味ください。



又平 鮓

神戸三宮生田ノ社ノ西
電話・三の宮 (331) 0935



おいしさが
口いっぱい
ひろがる……
本場の味



- 三宮センター街柳筋店
TEL 321-3446・331-0572
- 新開地店
TEL 576-1191
- 平野店（平野市場内）
TEL 361-0821
- 三宮センター街サンプラザビルB₁
TEL 391-3793

異人館物語 〈3〉

ジェームス山哀歌

小山 牧子

え・石 阪 春 生

あらずし 年の頃五十歳を少しすぎたと思われる初老の女が塩屋の高台をゆつくり降りていく。彼女、中井ふきは二十歳そこそこで郷里の瀬井村を出、英国系カナダ人A・W・ジェームスの雇人となり、五年前ジェームスが逝くまで彼の寵愛を受ける。彼にちなんで名づけられたジェームス山の中腹から塩屋の海を眺めながら、彼女はジェームスとの過ぎし日の出来事に思いをはせていく。

世界のあらゆる未開の国々で、英国人のフロンティア・スピリッツ、進取性はいかなく発揮されたのであったが、塩屋に住む古老たちの記憶に残る英国人に関しては、その種の加害的なエピソードはない。むしろ、西欧的合理主義、先進文明国のせちがらさから逃げだし、この一見、地中海の避寒地、たとえばニスとカンヌといった土地柄を連想させる塩屋の浜で自由奔放な暮らしを楽しんでいる、つまり闘争を捨てた毛唐たちの隠棲地としての観を呈したらしいのである。

明治二十年代の後半といえ、来日したラフカディオ・ハーンが神戸に移り住み、ジャパン・クロニクル社に健筆をふるいはじめた時期である。

ハーンは、アメリカの友人、ヘンドリックにあてた手紙に、

「神戸で外国婦人を目撃したり、あるいはその音を耳



にしたりすると、それは余りにも騒がしくひびきます……」

とあるように、自分の生まれた国を含む西欧のすべてを嫌悪し、黒い光る目を持った勤勉でしおらしい日本人とその伝統にこよなく心を傾けた。が、彼が西欧社会を拒否した本当の原因は、もっと形而下的なところにあったという一部の人々がある。というのは、彼の背の高さが並の白人にくらべてケタはずれに低く、青年期に最も関心を持つ恋愛、結婚といった重大事に、いつも白人女性のふられ役にまわらねばならぬ彼は、西欧社会では自尊心を傷つけられようだったらしく、それが社会生活

にまで影響を及ぼし、あらゆる面でうつうつとして楽しまなかつたというのである。

ところが、日本にやってきた彼は、そこでひかえ目に暮らしている日本の女たちの大部分が、彼より背が低くまめやかであることを発見し、心がなごんだ。彼は、それらの女たちの一人、小泉節子を熱愛し、生涯を、その愛ひとすじに生きた。

当時、塩屋に住んだ英国人たちの姿にも、この英国の文豪ラフカディオ・ハーンに共通したものがあり、西欧の肉食を常とする民族の合理的、闘争的の社会の中で受けた傷を、この東洋の小さな国の浜辺でひっそりと癒やしているふうがあつたのである。

勿論、神戸の土地をこよなく愛し、その都市化に貢献した異人たちもいた。現在日本に名を残す企業の創設者となつた人々もいた。ニッケル・ライオンズ社の創始者であるジョラス氏は、たいへんな寄附好きで親日家、奥さんは花隈のきれいどころを落籍させたものと伝えられているし、隻脚の英国人リネル氏は、のちのウィルキンソン・タンサン水を開発した人である。

また、浜の異人館には、賭事好きのワットソン氏が愛妾お玉さんと耽美的な生活をおくっていた。

外国人と結婚したり同棲する日本娘は、お玉さんの他にもかなりいて、どこでどう判断するのか異人の妻であるとして胸を張って歩く女と、塩屋界隈の商人たちでさえも『ラシャメン』としてあなどるお妾さんたちに区別され、後者は、黒いベールですつぽりと顔を包み、人目を避けるようにして塩屋の露路裏を往来したといわれている。

が、北野町あたりとことなり、明治時代にあつた本造の異人館はすべてとりこわされ、町が新興の住宅地として発展してゆく過程で、かつてここに生きた異人たちの風貌やエピソードも年々風化し、人々から忘れさられようとしている。

その中でただ一つ土地の老人たちの記憶に伝説のよう

に残る面白おかしいエピソードがある。

明治三十七年に日露戦争が勃発したのであるが、当時、浜の異人館の住人の中に前述のリネル氏とワットソン氏もいた。二人は共に大の親日家であつたが、日本への心の傾け方は違つていて、リネル氏の方は、日本人が持つデリカシイやまめやかさを愛し、ワットソン氏の方は日本の民族が内に隠し持つ発展力や進取性の方を高く評価していたのであろう。で、自然、日本の大バクチたる日露戦争に対しては、二人の意見は両極にわかれたのである。

二人は、海に面した異人館のテラスで、肘掛椅子に坐り込み、長い時間をこの他国の戦争をめぐる議論についやしたものだつた。

「馬鹿な。小鬼がマンモス（巨象）に手むかうとすめるのか。なにもかも失つてしまおうというのに……。僕が愛するこの美しい島国も西欧の汚れた足に踏みにじられてしまふのだな」

リネル氏が、詠嘆的にいうと、ワットソン氏が、

「君は、日本という国を知らないからそんなことをいう。僕は、現在の日本の国力からすれば、大ロシア恐れるに足らずと思うよ」

そういう彼は、生涯の大半を定職を持たないで過ごし、西欧社会のアウトサイダーとして、世界の国々を漂泊して歩いた男である。そして、彼はアウトサイダーゆえに、人々の通念によつてかくされている真実を見ぬく力を持っていた。

が、リネル氏にも、長年つちかつてきた良識という根柢がある。

「甘い、君の考えは甘すぎるよ。戦争は、常に武力と武力のぶつかりあいだよ。そして、勝負は、兵力の量と質、どちらが新しい性能を持つ武器を持っているかで決まる。太古からの歴史を考へてみたまえ。中国の古代国家を制覇したのは銅器に代つてより堅牢な鉄の武器を持った騎馬民族だつた。僕は日本を愛している。だから、

日本の本当の良さを知っているつもりさ、人間の数からいっても、武器の数からいっても日本はロシアの敵ではないよ」

「馬鹿だな、リネル。あんたはいつも社会通念と常識だけではものをいおうとする。一度でも自分の目と耳でものをたしかめてみる。君の屁理屈などふつ飛んでしまうよロシアではねえ、いまでも国民、いや農民の大部分が農奴、いわゆる奴隷なんだよ。連中、あの寒い国でハダカ同然でうろついでいて、それにいつだって飢えているんだよ。大金持は、ロマノフ王家とその取りまきだけのさ。だから、いざ戦争といつたって飢えている国民の大部分がソツポをむいちゃってる。君がいつもおっしゃる戦力、兵力ってのは、だから貴族出身の将校連中だけということになる。それにくらべてこの日本の勤勉な国民を見たまえ。みんな身ぎれいにしているし、飢えてもいない。そして、どんな片田舎の小作農民にでも『あなたは天皇陛下のために死ぬ用意があるか』と聞いてみる。即座に『勿論、喜んで』という答えが返ってくるだろう。ことほどさように、日本という国は天皇を中心にした精神統一がなされ、充実しているのだ。それにロシアはいま、国内を革命の嵐が吹きあれているとか。どう見てもこの戦争は、日本の勝だよ」

ワットソン氏は熱心に説得をこころみた。が、その自信たつぷりな語り口がリネル氏のカンにさわたつたのだろ

う。「もっともらしいロジックだけど、君の意見は、ある一



H. S. H.

部分の現実を全体についてあてはめるほどに拡大する一種のドグマチックといったものさ。だから、なんの論理性も根拠もない。ヤマトダマシイを高く評価してゐないけど、そんなの君がいつも溺れ込む耽美主義に過ぎんよ」

二人は次第にたかぶっていった。この日本という国での静かな起き伏し、血をわかせるような出来事はなにもない。アンニユイを楽しみすぎた二人は、一瞬、肉食民族の本能に立ちかえり、自己の存在のすべてを投げだすほどに激しくなかに没入したかったのだろうか。スリルと冒険を求めはじめたのだろうか。

半生を遊び人として過ごし、いまは賭事師として自ずからを任じているワットソン氏が、相手を挑発するように、ニヤリと笑った。

「そんなにきつぱりと言いきってよろしいんですね、リネル先生。なんだったら賭けてもいいんですよ」

「いいとも」

リネル氏が受けてたつのに、

「賭けるにも今回は大きく張らなければねえ。ゆきがかりということもあるから、一ポンド金貨というわけにゆきますまいよ」

「勿論」

「ではリネル、君から何を賭けますかね」

ワットソン氏の相手を押捺する口調が露骨になり、リネル氏は怒りで身体をふるわせたのだった。

「僕は不本意ながら、日本の敗戦に僕の全財産を賭けるよ」

やがてリネル氏がほとんど叫ぶようにいった。

「いいのか？リネル」

思いもよらぬ答えに、さすがのワットソン氏も大きくたじろいだ。

「頭を冷やせよ、リネル。いまなら取消しがきく」

「いいんだ。君の現実味にとほしい屁理屈が世の中に通用するはずがない。賭は僕の勝に決まっているさ」

★新しい関西を創造する総合雑誌

オール関西

<10月号予告>

☆グラビア 能楽を創る七人
グラビア 京おんな
グラビア 私の散歩道
奥田 東
小野十三郎ほか

☆特集 さんちかタウン
誌上素描展
貝原六一
河野通紀
石阪春生
西村 功
網谷義郎
角 卓

☆連載対談 小磯良平／竹中 郁
☆特集 クラブ&バー
京都・大阪・神戸
伊勢田史郎
相馬 大
沢野井信夫

☆京のやど／邦光史郎
☆織田作之助伝(7)大谷晃一
☆創作 地は鳴りやまず<3>
黒部 亨

月刊オール関西編集部

大阪市北区梅ヶ枝町80 梅新東ビル6F

TEL 06-364-2434(代)〜7

「本当にそう思うのか?」

リネル氏の顔を凝視するワットソン氏の目に、憎悪に近い光が宿った。

「よし決まった。僕は日本がロシアに大勝する方に、僕の全財産を賭けよう」。

かくて二人の英国人はそれぞれの全財産をトバ銭にして、他国の戦争の勝敗に賭け、明治三十八年、日露戦争は日本の勝利で終り、リネル氏はワットソン氏に全財産をまさあげられた。

これなどは、前号に述べたサマセット・モームの掌編小説『ア・フレンド・イン・ニード』の登場人物を彷彿させる挿話ではないだろうか。

おかげで貧乏のどん底に墮ちたリネル氏は、ワラ屋根の日本家屋に住み、日本人の妻に看とられながら長寿をまっとうし、その波瀾に富んだ生涯を閉じたと伝えられている。

ある郷土歴史書の一ページに、明治時代に塩屋にあった外国人のためのカントリークラブは、コロニアル・スタイルの異人館でこれはワットソン氏が寄進したものであるとの記述がでている。たぶん、この異人館は、例の賭けでリネル氏からまさあげたもので、のち仏心をだし

たワットソン氏が、公の用に供したものであらう。

古きよき時代、日本に溺れきったあちやらか奇人が住んでいた塩屋界限、そこは浜辺に近くエキゾチックな情緒あふれる異人館が建ち並んでいた。

異国の少女たちは金色の毛を風になぶらせ、邸内の庭には浜薔薇(はまじしゃ)の茎が自在にはびこり、テラスや勝手口の中にまでも点々と黄色い小花を飾ってまわる。

そして、夕暮れの風影は、なんと美しかったことか。

熟れきり地に没しようとする太陽からの光が海をオレンジに染め、さらに、浜辺に建つ異人館の窓々をさまざまな色に染めあげる。と、窓たちはいっせいに、ルビー、サファイア、エメラルド、水晶など、あらゆる宝石の色彩を帯びて燦然と輝きはじめるのだ。

また、建物の下の白い砂浜を駆ける異国の少年や少女たちの臍も夕映えの中でバラ色に染まっていた。黒い影が長く長く砂浜にのび、子供たちの躍動と共にその影たちはぶつかりあい、からみあう。

そして、それら逝く日を惜んで遊びたわむれる子供たちの中に、少年の日のアーネスト、つまりE・Wジェームス少年の姿もあったのである。

△つづく▽

— オリジナル **L** サイズ —

— 草履新発売 —

創業明治二十八年

履物の山下

古い老舗に新しいセンス

確実正札 完全冷暖房

静かに品選びの出来る店

神戸三宮センター街 TEL(391)0256



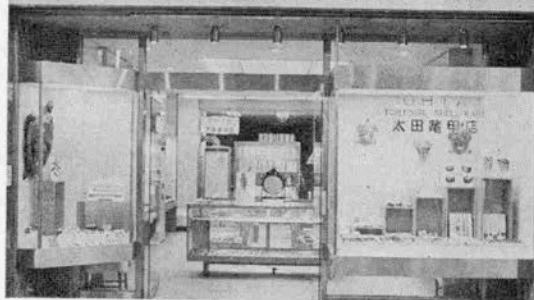
ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

三恵洋服店

元町4丁目 TEL(341)7290

FALL KOBE SHOPPING

太田鼈甲店



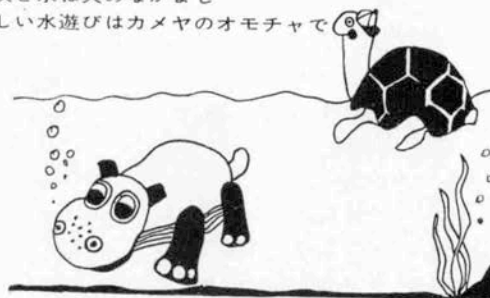
べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

太田鼈甲店

元町1丁目 TEL(331)6195

子供と水は大のなかよし

楽しい水遊びはカメヤのオモチャで



おもちゃの

カメヤ



三宮方面でのお買物は……

きんちか店 ファミリータウン 06(4045)
三宮店 三宮センター街山側 06(4969)

元町方面でのお買物は……

元町店 元町通3丁目山側 06(0090)

パンブウ店 元町通1丁目不二家前 06(0768)

でんわ・
321 321 331 — 三三七七—
— 〇六三四 —
— 〇六三五 —

三宮
ムサシ

ムサシ

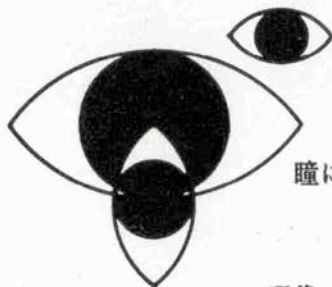
やっぱりうまい
むさしのとんかつ

高級紳士服専門店 神戸テラー



さんちかメンズタウン TEL (391) 0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL (331) 2817・3173

FALL KOBE SHOPPING



瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一 (三宮駅前)
神戸国際会館内 TEL (251) 8161・(231) 2570



Mr. Kent
came to Kobe
流行に左右されない
本来のオシャレ
それがKentです
シックな
スコッチ風の店舗
それがFunakiyaです

Kent shop

フナキヤ

元町 3 TEL (321) 0356

おすし
てんぷら



栄
彌

本店 大丸前・三宮神社東

TEL (331) 5772

(毎週水曜日休み)

支店

さんちか味ののれん街

TEL (391) 5233

(第3水曜日休み)

営業時間

A.M.11.30~P.M.9.00

色・味・香り
三つ揃った
灘の生一本
清酒
キンロ

■神戸市東灘区魚崎町魚崎356
金露酒造株式会社

大黒 ABC CUP

エビスカップで
気軽に行こう!



新発売
灘の生一本

清酒 大黒正宗

安福又四郎商店 醸

フラメンコの店
ブルーリボン

加納町3丁目交差点西1丁上ル
TEL 231-6378



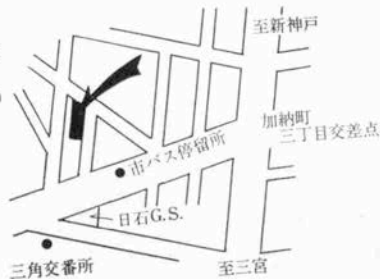
神戸の山手、加納町にフラメンコの店、ブルーリボンがある。ドアをあけると情熱的なカステネットをかき鳴らす音が耳にとびこんでくる。ステージに目を移せば、マスターのギター伴奏による、情熱的なフラメンコ舞踊。このフラメンコ舞踊が見られるのは、土曜日の夜、8:00・9:00・10:00。

のみ物は、スペインのセリー酒（ワイン）が¥300、軽食としてトルテジヤ（オムレツ）が¥350など、いろいろある。

今年6月1日に15周年をむかえたブルーリボンは、安心して気軽に行けるフラメンコムードいっぱいのお店。

営業時間PM6:00~PM12:00（第三日曜は休み）

フラメンコギター教室
火曜・金曜・日曜の
PM3:00~PM6:00
初心者歓迎



DRINKING

tea & cake shop

Pepe le moko

芦屋川アーバンライフB1
Tel. 0797-31-8314



★阪急芦屋川駅から芦屋川ぞいに南へ行くと左手に芦屋教会、ルナホール、芦屋市民会館と文化的な建物が続く静かな風景、その国道二号線ぞいに出来た芦屋川アーバンライフの地下には、しゃれたお店が揃って来て芦屋の新しい魅力を作っているが、pepe le moko（ペペルモコ）もその一つ。デートリッチとギャバンの「望郷」を想いだすけれど、明るいモダンな（ペペルモコ）は、小林仁志さんと純子さんの若いご夫婦が芦屋のお店らしくファミリーなムードをかもしている。

お客さんたちは、芦屋女子大、甲南大、関学などの女子学生が、お茶とケーキでベチャクチャ。可愛い子ちゃん眺めながらサンドイッチモグモグのヤングマン、そして芦屋夫人の子供連れ。とっても評判いいサンドイッチ（サラダ、コーヒ付）300円からや元町ケーキの味がグー。夜ともなれば二人でデートを楽しむ人も多い。コーヒ（150円）午前9:30~午後9:30迄

